

2025 年 11 月 13 日
さくら情報システム株式会社

**さくら情報システム、業務プロセスの革新へ
AI エージェント『Cline』『Dify』を全社展開**

さくら情報システム株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：伊延 充正、以下「さくら情報システム」)は、お客様へのさらなる付加価値の提供および業務の高度化を図るため、業務に合わせた AI エージェントサービス 2 種(Cline※1、Dify※2)を全社的に導入することを決定しました。社内で培った高いセキュリティ環境のもと、開発・運用部門からバックオフィスまで幅広い業務プロセスへの AI 活用を推進します。



■AI エージェント導入の背景

さくら情報システムは、昨年より社内向けの LLM(大規模言語モデル)を活用した業務改革に取り組んできました。一般的な LLM では入力した情報が学習に利用される点で情報漏洩の懸念がありますが、当社ではセキュアな環境で情報を外部に出すことなく使用できる、社内向けの LLM を開発・運用していました。しかし、業務プロセスへの適用が難しいことや、ツール自体を現場で維持管理することが困難であるといった課題が明らかになり、社内利用者数も伸び悩んでいました。これらの課題を解決し、生成 AI のさらなる活用と業務の高度化を図るため、AI エージェント 2 種類の導入を決定しました。

■AI エージェントの概要

新たに導入する AI エージェントは以下の 2 種類です。

【Cline】

システム開発・運用など、プログラミングコードを用いた業務に特化した AI エージェントです。エンジニアの業務効率化や品質向上を支援します。

【Dify】

非開発分野を含む幅広い業務全般に応用しやすい AI エージェントです。バックオフィスや営業、総務など、さまざまな部門での活用が可能です。

■活動範囲・効果(狙い)

Cline はシステム開発・運用部門において、プログラミングコードの生成からレビュー、バグの検出、ドキュメント制作補助などの一連の業務を支援し、開発現場の生産性向上が期待されます。Dify は非開発部門の業務に幅広く活用でき、業務プロセスの自動化による生産性向上が見込まれます。従来の課題である「業務プロセスへの適用の難しさ」を解消し、AI による業務効率化の範囲を拡大します。

■今後の展望

今後は、会社全体でセキュリティレベルの高い環境で AI を活用できるよう、AI エージェントの運用体制の整備と、各部門での活用事例の分析を進めることで、さらなる業務効率化と付加価値の創造を目指します。さくら情報システムが持つ強みの一つである「金融機関やインフラ業界を支えてきた高レベルなセキュリティ環境」での AI 導入事例をもとに、お客様向けの新たなソリューション開発にも展開していく予定です。自社で得た知見を活かし、企業価値のさらなる向上を目指します。

※1 Cline(クライン)は、Cline Bot Inc.が提供する AI エージェントサービスです。

※2 Dify(ディーフィー/ディファイ)は、LangGenius, Inc が提供する AI エージェントサービスです。

■さくら情報システムについて

<会社概要>

商号	： さくら情報システム株式会社(オーグス総研・三井住友銀行のグループ企業)
本社	： 東京都港区白金 1-17-3 NBF プラチナタワー
設立	： 1972 年 11 月 29 日
URL	： https://www.sakura-is.co.jp
業務内容	： 三井住友銀行およびグループ会社の基幹システムを支え、幅広いお客様にハイレベルなサービスを提供してまいりました。豊かな経験から培ったノウハウ、技術、信頼を基に、会計・人事給与・金融・BPO・セキュリティ・システム運用の強みを軸に、今後もお客様の課題解決をトータルにサポートしていきます。

※ 本リリースに記載されている製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

<報道機関からのお問い合わせ先>

さくら情報システム株式会社 マーケティング戦略部 マーケティング推進グループ

担当：小川・塩沢

電話：03-6757-7211

E-mail：solution1@sakura-is.co.jp